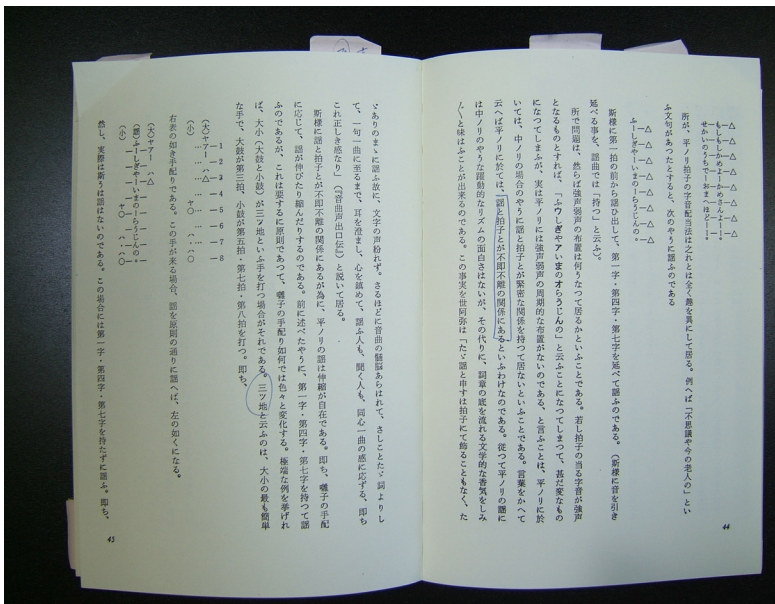


藤波紫雪 『お謡ひ稽古の手引 藤波紫雪著『うたひ六十年』より』

本書の中心は『観世』（昭和二四年一〇月―二五年一二月号）に「正本大成版解説」として連載され、入門謡本上巻に「謡曲須知」として掲載された記事である。「謡曲須知」には、「謡曲の音楽的性質」という節が含まれ、拍子についての一通りの説明がある（写真下）。三地謡／ツツケ謡にふれた後、著者は、ツツケ謡の最近の謡われ方が「かみとーきみとの」のように（モチの位置が）変化する傾向にあると述べる。面白いのは著者が、これは「私共は厳に戒められて来た」と述べている点である。



標題 内題…

標題紙…

奥 附…お謡ひ稽古の手引 藤波紫雪著

『うたひ六十年』より

その他…お謡ひ稽古の手引 藤波紫雪著

『うたひ六十年』より（表紙、

お謡ひ稽古の手引（背）

著者 奥 附…藤波紫雪（順三郎）

その他の場所…藤波紫雪（はじめに）

出版 版次…第四版

出版地…東京・京都

出版社…檜書店

出版年…平成一一（1999）

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…八九頁

寸法…19×13（cm）

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考 昭和五〇（一九七五）年序。初版は平成

二（一九九〇）年。